

学習指導要領	三宅高校 学カスタンダード
<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p> <p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p>	<p>様々な文章の構成や展開に注意しながら主要な内容をとらえ、その論理性に気付くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 論説や評論において、対比の関係や「序論・本論・結論」など段落の構成をとらえることができる。 ・ 小説において、場面や人物などの設定を通して全体の骨組みやその展開の仕方をとらえることができる。 ・ 構成や展開の仕方をたどりながら、書き手や文章中の人物のものの見方、感じ方、考え方などの主要な内容をとらえることができる。 ・ 文章の構成や展開の工夫や、書き手の主張などを伝えるための筋道の通し方に気付くことができる。 <p>文章を読んで、書き手の意図に気付いたり、人物、情景、心情の描写などをとらえたりしながら、叙述や表現の優れた点を感じ取り、味わうことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 論説や評論において、書き手の主張や意図を文章中から指摘し、整理することができる。 <p>中島敦『山月記』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の人物像や心情の変化を、その言動から読み取ることができる。 ・ 漢語や和語の美しさやリズムなどを感じ取り、音読などを通して作品に親しむことができる。 ・ 同じ作家の他の作品などを読書することができる。

学習指導要領	三宅高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p>	<p>文章の内容や表現の仕方について、その特色や価値を指摘しながら、自分の考えを深めることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、共感したり反発したりすることを通して、その根拠となる内容や表現を指摘することができる。 文章を読んで身近な人間、社会、自然などの問題に結び付け、自分の考えを明確にすることができる。
<p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p>	<p>目的や課題に応じて、収集した情報を整理して資料を作成し、根拠を示しながら自分の考えを述べることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や課題に応じて、事典、新聞、書籍やウェブページなどを利用して情報を収集することができる。 収集した情報を整理して、自分が活用しやすい資料を作成することができる。 作成した資料を活用して、自分の考えを表現することができる。
<p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<p>語句の意味、用法について基本的な事柄を理解し、文体や語句の使い方などの表現の特色を意識して、自分の表現を見直すことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> 難易度が中程度の文章について、語句の意味・用法を理解し、また用いることができる。 説明的文章に使用される語句のうち、基本的なもの（自我、理性、プロセス、メディアなど）の意味を正しく理解し、用いることができる。

学習指導要領	三宅高校 学カスタンダード
	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビのニュース番組や新聞記事などの概要を理解することができる。 ・比喩、反復、倒置、省略、対句などについて知り、文章中の技法のうち基本的なものを指摘し、自らも用いることができる。 ・文章を読んで、構成の仕方や語句の使い方などについて、良い点を指摘し、自分の表現を見直すことができる。

学習指導要領		都立三宅高校 学カスタンダード
<p>(1) ア 自然環境と歴史</p> <p>世界史へのいざない</p>	<p>歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。</p>	<p>[大河流域の生活と歴史]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大河流域に形成された古代文明周辺の自然環境の特色と人類の生活や活動とのかかわりについて知る。 <p>[海洋の生活と歴史]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁撈や交通・交易の場としての海洋の特色と人類の生活や活動とのかかわりについて知る。 <p>[草原の生活と歴史]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内陸アジア北部にひろがる大草原の自然環境の特色と人類の生活や活動とのかかわりについて知る。 <p>[オアシスの生活と歴史]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内陸アジア南部などの砂漠に点在するオアシスの自然環境の特色と人類の生活や活動とのかかわりについて知る。 <p>[森林の生活と歴史]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱帯林・温帯林・亜寒帯林など様々な森林と人類の生活や活動とのかかわりについて知る。 <p>[日本と世界の人々との交流]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本列島を訪れたり，日本列島から海外に渡ったりした使節や僧侶，商人などを通して，世界との関係や交流の事跡を知る。 <p>[外来の道具や技術の伝播]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来の道具や栽培植物，技術，日本列島内の各地や身近な地域に残されている遺跡や遺物などについて知る。
	<p>イ 日本列島の中の世界の歴史</p> <p>日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。</p>	<p>[日本の文化や生活]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本列島内の各地や身近な地域に残る祭礼や伝説，年中行事，歳時記，文字，暦などについて知る。 <p>[日本に伝来した外来の宗教]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仏教やキリスト教など外来の宗教を通して日本と世界のつながりを知る。

学習指導要領	都立三宅高校 学カスタンダード
<p>(2) ア ユーラシアの諸文明</p> <p>世界 の 一 体 化 と 日 本</p> <p>自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。</p>	<p>[東アジアの文明]</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字文化、儒教、中国を中心とした国際体制などいくつかの事例を通して、日本を含む東アジアに形成された文明の特質を知る。 <p>[南アジアの文明]</p> <ul style="list-style-type: none"> 仏教とヒンドゥー教、カースト制度、イスラームの影響などいくつかの事例を通して、南アジアに形成された文明の特質を知る。 <p>[西アジアの文明]</p> <ul style="list-style-type: none"> 古代オリエントの遺産、イスラーム教などいくつかの事例を通して、西アジアに形成された文明の特質を知る。 <p>[ヨーロッパの文明]</p> <ul style="list-style-type: none"> 古代ギリシア・ローマの遺産、キリスト教などいくつかの事例を通して、ヨーロッパに形成された文明の特質を知る。 <p>[諸地域世界の交流]</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界が一体化に向かう前提として、8世紀以降のユーラシア地域間交流について知る。 <p>[世界の一体化とヨーロッパ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパでのルネサンスや宗教改革などの動きや、大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアとの接触・交流について知る。 <p>[アジアの諸帝国]</p> <ul style="list-style-type: none"> 16世紀から18世紀までのアジアの諸地域が、安定した支配と経済の繁栄を背景に黄金時代を迎えたことを知る。 <p>[ヨーロッパの主権国家体制]</p> <ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパの主権国家体制の特質について知る。

学習指導要領	都立三宅高校 学カスタンダード
<p>イ 結び付く世界と近世の日本 大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16 世紀から 18 世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。</p> <p>ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。</p>	<p>[大西洋三角貿易とアフリカ・アメリカ社会の変容] ・大西洋三角貿易の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容について知る。</p> <p>[世界の一体化の動きと近世の日本] ・16 世紀から 18 世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本について知る。</p> <p>[産業革命と資本主義の確立] ・産業革命と資本主義の確立について知る。 ・資本家・労働者が形成され、労働や社会生活の在り方が変化したことを知る。</p> <p>[フランス革命とアメリカ諸国の独立] ・フランス革命とアメリカ諸国の独立について知る。</p> <p>[自由主義・国民主義の進展] ・自由主義と国民主義の進展について知る。 ・19 世紀のイタリア・ドイツの統一について知る。</p> <p>[アメリカ合衆国の発展] ・アメリカ合衆国の西部への領土拡張と移民の流入、先住民やアフリカ系の人々に対する抑圧、南北戦争後の急速な工業化について知る。</p> <p>[アジア諸国の変貌] ・18 世紀後半から 19 世紀までのアジア諸国の状況と、ヨーロッパ諸国の進出によって引き起こされた変化について知る。 ・18 世紀後半から 19 世紀までのアジア諸帝国の動揺と、それに対する社会変革へのアジアの主体的な動きについて知る。</p>

学習指導要領	都立三宅高校 学カスタンダード
<p>エ アジア諸国の変貌と近代の日本</p> <p>ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。</p>	<p>[日本の開国と近代化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19世紀の世界の一体化と日本の開国・明治維新について知る。 <p>[第二次産業革命]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次産業革命による交通・通信・マスメディアの発達や、企業の巨大化、国家の役割の増大、公教育の普及について知る。 <p>[国際的な移民の増加]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19世紀後半から国際的な移民が増加したことを知る。 <p>[大衆社会の出現]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大量生産・大量消費社会の登場により、社会が大衆化したことを知る。 <p>[帝国主義]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義諸国の抗争と日本を含むアジア・アフリカの対応について知る。 <p>[第一次世界大戦とロシア革命]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦が始まった原因と性格について知る。 ・大戦中にロシアで社会主義革命が起こったことを知る。

学習指導要領		都立三宅高校 学カスタンダード
<p>(3) ア 急変する人類社会</p> <p>地球社会と日本</p> <p>科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。</p> <p>イ 世界戦争と平和</p> <p>帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。</p>	<p>[第一次世界大戦後の国際秩序]</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際連盟やヴェルサイユ体制・ワシントン体制の理念について知る。 アジア諸地域の民族運動が高揚したことを知る。 <p>[世界恐慌とファシズムの台頭]</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界恐慌とその対応が、ファシズムの台頭や新たな国際対立を生み出したことを知る。 東アジアにおける日本の動向について知る。 <p>[第二次世界大戦]</p> <ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦について、戦争の被害の甚大さや戦争の複合的な性格について知る。 <p>[冷戦のはじまり]</p> <ul style="list-style-type: none"> 米ソ両陣営の対立による冷戦の構図について知る。 <p>[第三世界の台頭]</p> <ul style="list-style-type: none"> アジア・アフリカの植民地支配からの解放、第三世界の形成について知る。 <p>[1960年代の世界]</p> <ul style="list-style-type: none"> 米ソ両国の指導力低下に伴う多極化について知る。 <p>[市場経済のグローバル化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ドル危機や石油危機など1970年代の経済構造の転換について知る。 	

学習指導要領	都立三宅高校 学カスタンダード
<p>ウ 三つの世界と日本の動向</p> <p>第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。</p> <p>エ 地球社会への歩みと課題</p> <p>1970 年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。</p>	<p>[冷戦の終結と社会主義体制の崩壊]</p> <ul style="list-style-type: none"> 冷戦の終結と社会主義体制の崩壊について知る。 <p>[大河流域の生活と歴史]</p> <ul style="list-style-type: none"> 大河流域に形成された古代文明が、自然環境と深くかかわることによってその地域特有の生活・文化に発展したことを理解する。 <p>[海洋の生活と歴史]</p> <ul style="list-style-type: none"> 漁撈や交通・交易の場としての海洋と深くかかわることによってその地域特有の生活・文化に発展したことを理解する。 <p>[草原の生活と歴史]</p> <ul style="list-style-type: none"> 内陸アジア北部にひろがる大草原の自然環境の特色と遊牧民とのかかわり、その地域特有の生活・文化の形成について理解する。 <p>[オアシスの生活と歴史]</p> <ul style="list-style-type: none"> 内陸アジア南部などの砂漠に点在するオアシスの自然環境の特色と人類の生活や活動とのかかわりが、その地域特有の生活・文化に発展したことを理解する。 <p>[森林の生活と歴史]</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な気候帯に応じて生活に必要な様々な森林資源を手に入れ、その地域特有の生活・文化が形成されたことを理解する。 <p>[日本と世界の人々との交流]</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本列島を訪れたり、日本列島から海外に渡ったりした使節や僧侶、商人などが渡航に至るまでのいきさつやその時代の様子を大観し、世界との関係や交流の事跡を理解する。

学習指導要領	都立三宅高校 学カスタンダード
<p>オ 持続可能な社会への展望</p> <p>現代世界の特徴や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<p>[外来の道具や技術の伝播]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外来の道具や栽培植物，技術，日本列島内の各地や身近な地域に残されている遺跡や遺物に触れ，文明を支えたものや技術など，現在まで受け継がれた文化について理解する。 <p>[日本の文化や生活]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本列島各地に残る祭礼や伝説，年中行事，歳時記，文字，暦などについて，歴史的な背景や由来を理解する。 <p>[日本に伝来した外来の宗教]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仏教やキリスト教など外来の宗教と日本古来の思想との関係について理解する。 <p>[東アジアの文明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東アジアの農耕地帯に成立した中華文明と内陸アジアの乾燥地帯に台頭した遊牧国家の動向を中心に，日本を含む東アジアの形成過程や文明の特徴を理解する。 <p>[南アジアの文明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古代インド文明を中心に，南アジア独自の宗教と社会制度を基盤とする文明の形成過程や特徴を理解する。 <p>[西アジアの文明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西アジアにおける古代オリエント文明とイラン人の活動，アラブ人とイスラーム帝国の形成過程や特徴を理解する。 <p>[ヨーロッパの文明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古代ギリシア・ローマ文明，キリスト教を基盤とした東西ヨーロッパ世界の形成過程や文明の特徴を理解する。

学習指導要領	都立三宅高校 学カスタンダード
	<p>[諸地域世界の交流]</p> <ul style="list-style-type: none"> 8 世紀以降のユーラシアの海・陸のネットワークについて、諸地域世界の交流が活発化し、諸地域世界の再編されたことを理解する。 <p>[世界の一体化とヨーロッパ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパでのルネサンスや宗教改革などの動きとともに、ヨーロッパによる海外進出について触れ、アジア交流圏への参入や、ラテンアメリカの征服・植民地化について理解する。 <p>[アジアの諸帝国]</p> <ul style="list-style-type: none"> 16 世紀から 18 世紀までのアジアの諸地域の安定した支配と経済的繁栄について理解する。 やがてアジア諸帝国の支配体制がゆるみ、ヨーロッパ諸国の進出にともない変容したことを理解する。 <p>[ヨーロッパの主権国家体制]</p> <ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパの主権国家体制の特質と形成過程を理解する。 <p>[大西洋三角貿易とアフリカ・アメリカ社会の変容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 大西洋三角貿易による世界の一体化の進展とそれに伴うアフリカ・アメリカ社会の変容を理解する。 <p>[世界の一体化の動きと近世の日本]</p> <ul style="list-style-type: none"> 16 世紀から 18 世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本について、近隣諸国との関係を踏まえて理解する。 <p>[産業革命と資本主義の確立]</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業革命と資本主義の確立について、世界史的な視野でとらえさせ、経済や社会の変化を理解する。 資本家・労働者が形成され、労働や社会生活の在

学習指導要領	都立三宅高校 学カスタンダード
	<p>り方が変化し，労働運動や社会主義思想が成立したことを理解する。</p> <p>[フランス革命とアメリカ諸国の独立]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカ合衆国の独立とフランス革命，ラテンアメリカ諸国の独立を通して，大西洋世界で起こった一連の政治的変動を理解する。 <p>[自由主義・国民主義の進展]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ウィーン体制下で自由主義・国民主義が高まりをみせ，19世紀後半にはイタリア・ドイツなどで国民国家が形成されたことを理解する。 <p>[アメリカ合衆国の発展]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカ合衆国の西部への領土拡張と移民の流入，先住民やアフリカ系の人々に対する抑圧がこの国の国民形成に独自の性格を与えるとともに，南北戦争後の産業資本家が主導した工業化の進展について理解する。 <p>[アジア諸国の変貌]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 18世紀後半から19世紀までのアジア諸国の支配体制の動揺と，ヨーロッパ諸国の進出により伝統的な国家体制や貿易構造の変化が引き起こされたことを理解する。 ・ 18世紀後半から19世紀までのアジアの諸帝国の動揺と伝統文化の変容などに触れ，それに対する社会変革へのアジアの主体的な動きについて理解する。 <p>[日本の開国と近代化]</p>

学習指導要領	都立三宅高校 学カスタンダード
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の近代化の過程について、他のアジア諸国との関係など、世界の歴史の中での日本の位置付けを理解する。 [第二次産業革命] ・第二次産業革命による交通・通信・マスメディアの発達とそれに伴う産業構造の変化、企業や国家の巨大化、国家の役割増大による国民統合の進展を理解する。 [国際的な移民の増加] ・ヨーロッパから南北アメリカやオセアニアへの大規模な移住、中国や南アジアから大量の移民労働者の供給について理解する。 [大衆社会の出現] ・大量生産・大量消費社会の登場による社会の大衆化の過程で変容した政治や文化について理解する。 [帝国主義] ・欧米の帝国主義諸国が植民地獲得や勢力圏拡大の抗争を繰り返す一方、一方で日本を含むアジア・アフリカ諸国ではナショナリズムが高揚していく意義を理解する。 [第一次世界大戦とロシア革命] ・第一次世界大戦の原因や戦時下の総力戦体制の性格、戦争がもたらした世界の変化について理解する。 ・大戦中にロシアではじまった社会主義革命が起こったことを理解する。 ・第一次世界大戦が日本の政治や経済などに与えた影響について理解する。 [第一次世界大戦後の国際秩序] ・国際連盟やヴェルサイユ体制・ワシントン体制の理念に着目し、第一次世界大戦後の国際社会の枠組みが大きく変化したことを理解する。

学習指導要領	都立三宅高校 学カスタンダード
	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の民族運動の動向について理解する。 <p>[世界恐慌とファシズムの台頭]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌とその対応が、ドイツのナチズムなどファシズムの台頭や新たな国際対立を生み出したことを理解する。 ・東アジアにおける国際情勢と日本の動向について理解する。 <p>[第二次世界大戦]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦については、戦争被害の甚大さや複合的な性格、戦後の国際連合の設立や国際政治に与えた影響を理解する。 <p>[冷戦のはじまり]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米ソ両陣営の対立による冷戦の構図と、両陣営の核兵器や人工衛星の開発による緊張関係の激化について理解する。 <p>[第三世界の台頭]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア・アフリカの植民地が解放され、第三世界として国際社会において発言権を強めたことを理解する。 <p>[1960年代の世界]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヴェトナム戦争、中ソ対立による米ソ両国の指導力低下に伴い、多極化が進んだことを理解させる。 ・先進国の間に南北問題が顕在化してきたことを理解させる。 <p>[市場経済のグローバル化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1970年代のドル危機と、石油危機を打開するために、先進諸国は産業構造を転換し、新興工業地域では欧米や日本などから技術や資本を導入して工業化を進めるなど、市場経済のグローバル化が進

学習指導要領	都立三宅高校 学カスタンダード
	<p>展したことを理解する。</p> <p>[冷戦の終結と社会主義体制の崩壊]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の終結や社会主義体制の相次ぐ崩壊により，東欧諸国やソヴィエト連邦が政治的に自由化し，市場経済へ移行する過程を理解する。 <p>[地域統合の動き]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパにおける地域の経済的統合から，EU による国民国家の枠を越えた政治的統合への発展への過程を理解する。 <p>[地域紛争の頻発]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パレスチナ紛争など世界各地で頻発している地域紛争の歴史的背景を理解する。 <p>[地球社会の歩みと課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識基盤社会への移行に伴う生活の向上と，環境や資源・エネルギーをめぐる問題など今日的課題について理解する。

学習指導要領		都立三宅高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代の政治</p> <p>ア 民主政治の基本原則と日本国憲法</p> <p>日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観させるとともに、政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治などについて理解させ、民主政治の本質や現代政治の特質について把握させ、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について考察させる。</p> <p>イ 現代の国際政治</p> <p>国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について把握させ、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会契約説について、ホッブズ、ロック、ルソーの特質をとらえ、自然権に基づく国家・政府の在り方は、現代の政治の基盤となっていることなどを理解する。 ・大日本帝国憲法との違いを明確にしなが、日本国憲法の三大原理を理解するとともに、大日本帝国憲法での天皇としての役割があったが、日本国憲法においては、天皇は象徴として内閣の助言と承認により国事に関する行為を行うとされていることを確認する。 ・我が国における三権分立の仕組みについて、国会、内閣、裁判所の各機関の働きと相互の関係を踏まえて理解するとともに、議院内閣制の特徴を大統領制との比較によって理解する。 ・他国の政治制度について、主要国を考察する。 ・自由権的基本権と社会権的基本権の相違を踏まえながら、その成立の背景や具体的な権利の内容について理解する。夜警国家から福祉国家への転換や、生存権の成立、意義を理解する。 ・現代社会における相互の権利や利害対立を調整するための原理として、「公共の福祉」という考え方があることを、現代の社会での事例などを踏まえて理解する。 ・我が国の議会制民主主義について、日本国憲法の条文に則して理解する。 ・我が国の地方自治制度において、住民自治の実現を図るため、条例の制定・改廃、議会の解散、議員や首長の解職などについて、住民の直接請求権が認められていることを理解する。 ・現代における福祉国家の広がりに伴い、国家機能の複雑化が進行し、行政府の役割が拡大している現状について考察する。 ・我が国の戦後政治史を概観し、自民党による長期政権の持続や、選挙制度改革後の政権交代の動きなど、事例を踏まえて理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会について、環境、人権、貿易などの分野で、各国の対立が発生する一方、国際機関や非政府組織（NGO）による問題解決のための取組が進められていることを把握する。 ・ウェストファリア条約を端緒とする主権国家の成立、グロティウスの国際法について理解する。 ・国際法上の人権、国家主権に関する規定を理解すると 	

学習指導要領		都立三宅高校 学カスタンダード
<p>考察させる。</p> <p>(2) ア 現代経済の仕組みと特質 現代の経済</p> <p>経済活動の意義、国内経済における家計、企業、政府の役割、市場経済の機能と限界、物価の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、金融の仕組みと働きについて理解させ、現代経済の特質について把握させ、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察させる。</p>	<p>ともに、我が国固有の領土の経緯と我が国の正当な立場を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際連合の機能とその役割について、総会での決議方法の違いや、国際連合の特質、安保理の強力について、国際連盟との比較を通して理解する。 ・我が国の国際貢献活動として、例えば、国際社会の平和と安全を維持するために自衛隊が果たしている役割、具体的な国連平和維持活動（PKO）などについて理解する。 ・冷戦後の国際政治の動向を踏まえて、人類の平和的共存を実現するには、民族対立や国際紛争の背景にある、文化や宗教の多様性について相互理解が不可欠なことを理解する。 ・国際平和の実現や、地球上の貧困や飢餓の撲滅に向けて、我が国をはじめとする先進国が果たすべき役割について確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・財やサービスを効率的に分配するための仕組みとして、現代における市場経済の存在を理解する。 ・家計、企業、政府の経済的な相互関係が一国の国民経済を構成していることを理解する。 ・貿易や為替など国際経済の動向が国民経済にも影響を与えることを理解する。 ・需要供給曲線を活用して、市場における価格メカニズムについて理解する。過去問を事例として取り上げる。 ・公害などの外部不経済の発生、企業の巨大化に伴う独占、寡占の広がりなど、市場機構が十分に機能しない場合には、政府による適切な政策が必要であることを考察する。 ・物価変動によるインフレーションやデフレーションの発生が国民生活に与える影響について、インフレーションは景気の過熱や投資・投機の拡大と結び付き、デフレーションは景気後退や不況と結び付いていることを分析する。 ・財政による景気調整の機能として、増減税、伸縮的な財政政策（フィスカルポリシー）及び自動安定化装置（ビルト・イン・スタビライザー）について理解する。 ・金融政策について、中央銀行が公開市場操作により市中に流れる通貨供給量を調整していること、金融市場における金利の動向が通貨供給量の変化に波及し、消 	

学習指導要領		都立三宅高校 学カスタンダード
<p>イ 国民経済と国際経済</p> <p>貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させ、グローバル化が進む国際経済の特質について把握させ、国際経済における日本の役割について考察させる。</p>	<p>費や貯蓄、投資行動に影響を与えることを考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他国や地域によって独自の歴史や文化的背景をもち、それぞれ特徴を有していることについて、我が国と欧米諸国などとの比較を通じて理解する。 ・経済活動と国民福祉との関連について、環境保全よりも経済成長を重視することで、公害が発生し、国民福祉が阻害される場合があることを事例とともに理解する。 	
<p>(3) ア 現代日本の政治や経済の諸課題</p> <p>現代社会の諸課題</p> <p>少子高齢社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働を巡る問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易について、リカードの比較優位説を踏まえて国際分業の利点を理解する。 ・国際収支の内訳や変動相場制の仕組み等について理解する。 ・国際貿易体制の動向をGATTの各ラウンド交渉の変遷を通じて知る。 ・ブレトンウッズ体制からスミソニアン協定を経て変動相場制へ移行した国際通貨制度の仕組みについて理解する。 ・地域経済統合について、EUのように政治統合まで志向する地域や、東南アジア諸国連合（ASEAN）のように経済統合を目指す地域など、様々な形態があることを考察する。 ・南北問題の原因とその解決策及び南南問題と呼ばれる新たな経済的格差問題について理解する。 ・新興国の発展とその課題について、資源ナショナリズムや国際通貨危機などと関連させて理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会における社会保障の在り方について、政府による福祉政策を重視する考え方と、国民の自助努力を重視した福祉の考え方とがあり、具体的な事例を通じて、二つの考え方を考察する。 ・地域社会の特色ある発展を促すには、地方分権を推進するための政策や制度が必要であることを理解する。 ・雇用と労働問題については、終身雇用制や年功序列型賃金体系などにより雇用の安定を重視する考え方と、規制緩和により労働力を効率的に活用するという考え方があることを最近の労働問題もふまえながら考察する。 ・産業構造の変化と中小企業については、経済のグローバル化や国際競争の激化、規制緩和の進展などの状況 	

学習指導要領	都立三宅高校 学カスタンダード
<p>イ 国際社会の政治や経済の諸課題 地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p>	<p>が見られる中で、規制緩和をさらに進める自由化重視の立場と、政府による保護育成が必要と考える立場とがあることを考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の農業と食料の問題については、農業における生産、流通、貿易を自由化する考え方と、国内農業を保護するための政策を推進する考え方があることを理解する。TPP なども取り上げて考察する。 ・地球環境と資源・エネルギー問題については、地球環境の保全を優先する考え方、生活水準の向上を目指す経済発展（開発）を優先する考え方とがあることを学習する。 ・国際経済格差の是正については、先進国や国際機関による経済援助を中心とする考え方と、その反面、発展途上国の自助努力を中心とする考え方があることを理解し、発展途上国の経済的自立と地球の持続可能な発展が重要な課題であることを考察する。 ・人種・民族問題や地域紛争については、少数民族の分離・独立という考え方と多数民族との共生という主張とがあり、その二つの考え方を吟味しながら、現実の地域紛争等の問題を理解する。 ・我が国の国際貢献が、従来は資金面での援助や協力が中心であったことを踏まえ、他国が本当に必要で希望していることを考察する。 ・今後は人的貢献にも力を入れる必要があることを理解する。